

令和 8 年 9 月 25 日
中部地方整備局
木曽川下流河川事務所

川の中にはどんな生き物がいるかな？

～地元小学生と取り組む「石倉かご」を用いた環境学習～

- 石倉かごを活用した生き物調査体験や観察会を通じて、地域の子どもたちに川の自然環境や生態系への理解を深めてもらいます。
- 生き物とのふれあいを通じて、身近な川や自然環境について楽しく学びます。

木曽川下流河川事務所では、生物が生息・成育できる豊かな河川環境の保全・再生に取り組んでいます。

その取り組みの一つとして、地元小学校と連携し、石倉かご^{※1}を活用した環境学習を実施します。当日は、教室での出前授業に加え、現地で石倉かごの回収体験^{※2}や生き物観察を実施し、子どもたちが川の自然や生態系のつながりについて学びます。

※1 石倉かごは、川の中にかごを設置しその中に石を詰めたもので、ニホンウナギをはじめ、エビやカニ、魚類など多くの生き物のすみかや産卵場所として利用されます。

※2 当日の天候や現地状況等により、回収体験は実施せず、見学のみとなる可能性がございます。

※ 本取り組みは、「ニホンウナギ生態系ネットワーク」の一環として実施しています。

1. 日 時 令和 8 年 10 月 2 日（金）10 時 00 分 ～ 15 時 30 分
2. 場 所 海津市立下多度小学校、海津市北部浄水公園
3. 参加者 下多度小学校 3・4 年生 約 15 名、木曽川下流河川事務所職員
講 師 望岡 典隆（ウナギ増殖研究所 所属）
4. 実施内容
 - 第 1 部 出前授業（教室） 午前（10:25-11:10）
 - 第 2 部 体験学習（現地） 午後（13:40-14:30）
 - 石倉かごの引き上げ体験、捕獲された生き物の観察



授業の様子



設置した石倉かご



体験学習の様子

5. そ の 他

取材をご希望される報道関係者の方は別紙2「取材登録書」をご記入の上、9月30日（水）17時までに 別紙2記載の送信先へ電子メールにて送信をお願いします。

6. 配 布 先 桑名市政記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

(問合せ先)

中部地方整備局 木曽川下流河川事務所

副所長 奥山 剛 流域治水課長 横山 千津子

T E L 0594-24-5715 F A X 0594-21-0893

ニホンウナギ生態系ネットワーク ～石倉カゴによるモニタリング～



石倉カゴの作り方 (実際は河川で作業)



○:生物の棲み処となる”すき間”

石倉カゴとは？

伝統漁法である石倉漁と伝統土木工法である蛇簗の長所を組み合わせ、造ったカゴで河川に沈めておくと**ニホンウナギやその他生物の隠れ家・棲み処になります。**

全国でもニホンウナギの調査として盛んにおこなわれており、実績のある手法です。

これまでの取り組み状況

ニホンウナギ生態系ネットワークを推進していくために、令和2年度から揖斐川などで石倉カゴを用いたモニタリングを継続しています。(令和8年度は海津市北部浄水公園で調査を予定)
1～2ヶ月ほど石倉カゴを川の中に沈めた後、引き上げてみると・・・ニホンウナギをはじめとするたくさんの生き物たち(魚類、甲殻類など)が確認できます！



網の中には川の生きものが
たくさんいます！



もちろんニホンウナギも
捕れています！



調査によって確認されたウナギ
体長は約30～60cm程度あります

今後の予定

様々な形で地域との連携を進めていき、地域の皆様が保全活動へ関わるキツカケをご提供して行きます。活動内容は随時Facebookに投稿しますので、お楽しみに！



➡ ニホンウナギ生態系ネットワーク推進部会 公式Facebook

国土交通省 木曽川下流河川事務所 流域治水課 TEL 0594-24-5715



別紙2「取材登録書」

取材登録書

本環境学習の取材をご希望される報道機関におかれましては、事前登録のためこちらの取材登録書を記入のうえ、期限までにメールにて送信をお願いいたします。

送信期限 令和8年9月30日(水)17時00分まで

1. 報道機関名 _____

2. 取材者

(1)お名前(複数名の場合、代表者名)

(2)ご連絡先

_____ TEL _____

(3)取材人数

_____ 人 _____

送信先 : 木曽川下流河川事務所 流域治水課

メールアドレス cbr-karyu_chousa@mlit.go.jp